

(別添様式1) ※A3判(1枚)に収める。「わがまちの道徳教育推進プラン」の内容と事業実施計画書及び報告書との整合性に留意して記載すること。

わがまちの道徳教育推進プラン 土佐市教育委員会		所管する小学校名	宇佐小、新居小、高石小、高岡第一小、高岡第二小、蓮池小、波介小、北原小、戸波小、	校数	9校	計	12校
		所管する中学校名	土佐南中、高岡中、戸波中	校数	3校		
道徳教育推進方針		学校・家庭・地域の連携による道徳教育の推進					
年度当初の拠点地域の状況		到達目標		中間検証(下半期に向けての改善事項)		到達目標達成状況	
道徳性に関する現状		肯定%(小・中)		道徳意識調査の肯定的回答の割合の向上		到達目標達成状況	
①道徳の勉強は、すきだ。	84.0	72.1	①「道徳の勉強は、すきだ」3ポイント以上向上	<p>○道徳連絡協議会の充実</p> <p>上半期は、管理職のみの協議会となってしまったので、各校の推進教師における各校の具体的な取り組みの共有ができなかったため、下半期は取り組みの具体を共有できるようにしていく。</p> <p>○「家庭で取り組む高知の道徳」の活用の充実</p> <p>意識調査結果からみても、土佐市全体としても数値が低く、特に中学校での活用に課題がある。上半期の研修等で学んだことを各校で活かし活用できるよう推進していく。</p> <p>○講師を招聘した公開授業研究会(2回)へ土佐市内の先生が積極的に参加できる環境づくりに努める。</p>	<p>「道徳が好き」について、小学校は+1%、中学校は-12.4%と中学校に課題が浮き彫りになった。現中2の小5時のデータとの比較では、20%減少しており、土佐市として学年に上がるにつれて低下する傾向がある。このことから小中連携を図り、道徳推進教師だけでなく、学校全体として道徳教育への意識を高めていく必要がある。「高知の道徳」活用については、小学校-1%、中学校-1.7%と目標数値から大きく下回る結果となった。各校で活用はしているが、特に中学生の保護者との連携に課題が見られる。来年度は、「高知の道徳」活用と保護者との連携の項目を分けて意識調査を行い、課題を明確にしていく。講師を招聘した公開授業研究会では、小小・小中連携した交流の場として多くの先生が参加し貴重な研修の機会となった。</p>		
②道徳の授業では、自分の考えを伝えたり、ほかの人の考えを聞いたりしながら、自分のこと(生き方)についてよく考えている。	85.8	72.1	②「道徳の授業では、自分の考えを伝えたり、ほかの人の考えを聞いたりしながら、自分のこと(生き方)についてよく考えている」3ポイント以上向上				
③家の人と道徳の話をしたり、「家庭で取り組む 高知の道徳」を読んだりしている。	48.1	28.6	③「家の人と道徳の話をしたり、『家庭で取り組む 高知の道徳』を読んだりしている」目標数値70%以上				
④自分には、よいところがあると思う。	76.1	54.3	④「自分には、よいところがあると思う」3ポイント以上向上				
⑤将来の夢や目標をもっている。	86.2	77.1	⑤「将来の夢や目標をもっている」3ポイント以上向上				
⑥人が困っているときは、進んで助けている。	86.5	77.1	⑥「人が困っているときは、進んで助けている」3ポイント以上向上				
⑦地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある。	85.0	55.7	⑦「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある」3ポイント以上向上				
到達目標達成のための取組		取組計画			指標達成状況の分析		
取組項目	取組の評価指標	5月～8月	中間評価	9月～2月(中間検証を踏まえての追記・変更可)	達成状況	年度末評価	
道徳教育の主体的な推進体制の整備	◆市内全小・中学校において、道徳教育を推進する体制ができている。	①土佐市道徳教育推進協議会(1回)の実施 ・各校の道徳教育推進体制の確認 ・児童生徒、教師の意識調査結果の協議・検討	C	①土佐市道徳教育推進協議会(4回) ・意識調査の検証を踏まえた取組改善策に基づく実践の報告・検証 ②全国道徳教育研究会への視察(鳥取へ6名参加) ・視察報告会を開催し、効果的な取り組みを共有	土佐市連絡協議会については、年度当初旅費の関係上1回目が実施できなかったが、それ以降は計画通りに実施できた。今年度は、全国大会にも参加できたことで各校の道徳の授業への意識も高まった。	B	
道徳科の趣旨を踏まえた指導方法及び評価の在り方に関する道徳の授業実践の研究	◆各校の道徳授業力チェックシート【教師用】【児童生徒用】におけるポイントを年度当初より向上させる。	①各校の道徳教育年間指導計画、指導案の検討・改善 ②道徳推進リーダーの模範授業の実施 ③道徳科の評価の仕方を全小中学校で共有 ④授業力チェックシートの結果の協議・改善策の検討	C	①道徳教育推進協議会において、道徳授業力チェックシートの検証・改善策を協議 ②道徳推進リーダーの模範授業の実施 ③授業力チェックシートの結果の協議・改善策の検討	中間検証後、授業力チェックシートと意識調査の結果を受けて各校での授業改善に向けて取組を行った。道徳推進リーダーの模範授業については勤務校での授業にとどまり、市内12校での模範授業はできなかった。	C	
小小連携・小中連携による小・中学校の道徳教育の充実	◆公開授業研究、授業づくりについての講話などには小中各校1名以上は参加し、研究内容を各校の取組に活かす。	①公開授業に向けた授業づくりの研究 ②道徳の全体計画の確認・実態の把握	B	①公開授業(2回)(各校1名以上の参加) ・講師の招聘「道徳授業と評価」についての学びを各校での日々の取組・実践につなげる。 ②土佐市道徳教育推進協議会における取組の成果報告、改善策検討	公開授業については、各校1名以上、市内の多くの先生が参加し、講師の講話を受け日々の実践への貴重な学びの場となった。小小・小中連携の機会となったが、各校の具体的な実践交流や改善策等を協議する時間は十分に確保できなかった。	B	
学校・家庭・地域の連携を図ったまちぐるみでの道徳教育の推進	◆市内全小・中学校の道徳参観日への参加率を増やす。「高知の道徳」を活用し、PRする。	①市内全小・中学校で学校・学級・道徳便り・HPなどにより、道徳科の内容や道徳教育の取組を発信する。また、その中で「高知の道徳」の内容を紹介していく。	B	①家庭との連携の方策についての協議 ・「家庭で取り組む 高知の道徳」の活用法についての各校の取組を共有 ②市内各小中学校での道徳参観日の公開	市内各小中学校で道徳参観日として実施することはできた。「高知の道徳」を各校工夫して活用したが、効果的な活用法など具体的な実践交流の場を設けることができなかった。	C	